令和８年度　　河瀬高等学校　学校評価

学校教育目標 および 育てたい資質・能力	「たくましく豊かな人間性を育み、未来社会に貢献できる生徒の育成」 ①自分をよく知り、未来を描く力　②他者・社会・世界をよく知り、異なる価値観を受け入れる力 ③他者と関わりながら自律的に行動できる力　④先を見通し、論理的に思考できる力

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校の教育目標に基づき、中高一貫教育校の特性を活かしながら魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	A		
2　学習指導	学力向上のための学習指導の工夫・改善に取り組み、魅力ある授業づくりに努めている。	A		
3　生徒指導	生徒の基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努めている。	A		
	いじめのない安心安全な学校づくりに努めている。	A		
4　進路指導	よりよい進路選択ができるよう、生徒の視野を広げ興味関心や学力を高める取組を行っている。	A		
	進路実現に向けて、生徒の希望・能力・適性に応じた丁寧な進路指導を行っている。	A		
5　特別活動等	学校行事や生徒会活動、部活動などを通して生徒の自主性や実践力を高めている。	A		
6　学校図書館	読書に親しみ、充実した学習活動を行うための拠点として、魅力ある図書館づくりに努めている。	A		
7　保健・安全指導	生徒が安全で健康的な生活を送れるような取組を行っている。	A		
8　人権教育	人権学習や学校行事を通して、生徒の人権意識を高め、互いを尊重できるよう努めている。	A		
9　環境教育	日々の清掃活動やゴミの分別などを通して、環境整備や地域美化のための意識向上を図っている。	A		
10　事務・管理	施設・設備の安全点検を日常的に行うとともに、教育環境の整備に努めている。	A		
11　その他　学校の取組	家庭や地域と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	A		
	探究活動を通して、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成するよう努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.kawase-h.shiga-ec.ed.jp/